

基 調 編

- 2023 年度 (一社)守口門真青年会議所基本計画理事長所信
- 2023 年度 組織図
- 2023 年度 事業計画
- 2023 年度 予算書
- 2023 年度 出向者一覧

一般社団法人守口門真青年会議所 2023 年度 基本計画

○ 基本理念

夢と希望が溢れる未来の創造

○ 2022 年度守口門真 JC スローガン

やる気・元気・前向きに

○ 基本方針

- ・未来にむけての会員拡大
- ・能動的に行動できる人財の育成
- ・持続可能なまちづくり
- ・夢を語ることができる青少年の育成
- ・想いを込めた組織運営

○ 理事長所信

一般社団法人守口門真青年会議所 2023 年度理事長 藤井 一樹

【はじめに】

あなたには夢がありますか。そう聞かれたとき、明確に答えられるでしょうか。JCI 日本は、1951 年新日本の再建は我々青年の仕事であるという志をもち明るい豊かな社会の実現という夢に向かって今日まで歩み続けてきました。JC のメンバーである私たちは、夢をイメージできているでしょうか。数年後の自分はどのような人物になっているでしょうか。会社はどのようになり、どのような仕事をしているでしょうか。家族はどのようになり、どのような家庭になっているでしょうか。自分の暮らす地域はどのようになっているでしょうか。その答えが少しでも見えたとき、今やるべきことが見えてきます。私たちは守口門真青年会議所にて JCI 日本と同じ夢に向かって今まで活動してまいりました。2023 年度は守口青年会議所と門真青年会議所が統合して 19 年目を迎えます。2023 年度は 2019 年度に掲げた中期ビジョンを今一度見つめなおし守口門真青年会議所の 10 年後を見据えて、今やるべきことを実行してまいります。

【未来にむけての会員拡大】

近年、JCの会員数は減少してきています。2022年度においても8割以上のLOMが減少しており、将来的な組織力の低下が懸念されています。40歳で卒業を迎えるJCでは、組織を未来に向けて持続させるために、毎年新たな仲間を迎え入れ、会員数を増やし共に運動をおこなっていくことが必要不可欠です。そのためには、会員拡大を担当委員会だけではなく、LOMが一体となりおこなう運動と考え、メンバー一人ひとりが当事者であるという認識をもつことが非常に重要です。また、JCはまちづくりだけではなく、ひとづくりもおこなっている団体です。メンバーへ様々な機会を提供することによりメンバーを成長に導き、成長したメンバーがJCで得た経験が自分の働いている会社や住み暮らす地域により良い変化を与えているということを理解してもらいます。そのことにより、守口門真青年会議所の存在意義や魅力を地域で活躍する人財に発信し、明るい豊かな社会の実現というJCの夢に共感してもらい、会員拡大をおこなっていきます。

【能動的に行動できる人財の育成】

JC活動において、最も大切なのはメンバーです。我々の活動はメンバーがいなくては何もできません。しかし、メンバーが多く在籍しているだけでは、地域に必要とされる運動を発信できるわけではありません。JCメンバーとして一番大切な能力とは、地域や自分の夢のために今何をしなければいけないかを考え、その夢に向かって行動をおこすことができることです。そのためには、まずメンバー一人ひとりがJCとはどのような夢をもって活動しているかを知り、そのうえで、JCの単年度制ならではの与えられた役割に対し責任をもって全うすることにより他の人たちと協同して行動する方法を学び、JCプログラムや議案書を書くことで地域に必要とされる運動を展開する方法を学びます。普段、社業の中で、体験しにくいことでも、JC活動を通して様々な体験ができます。JCというフィールドの中でいろいろなことに挑戦することにより、仲間と手を取り合ってつくり上げていく成功体験を経験値に変え、地域や自分のまわりの人たちのために能動的に行動できる人財を育成してまいります。

【持続可能なまちづくり】

私たちの住み暮らす守口市門真市では、人口が減少してきており、地域コミュニティの機能が低下してきています。私たち自身がその課題を解決していくためには、市民であることに誇りを持ち地域に愛着を感じてもらうことにより、地域に定着してもらい地域の魅力を発信していくことで守口市門真市に人を呼び込んでいく必要があります。そのために、私たち守口門真青年会議所が地域の中心となり、地域の方々とともに運動を展開することで多くの人たちに地域に愛着をもってもらいます。また、地域コミュニティの機能の低下は近年頻発している自然災害に対する地域の防災力の低下を意味します。私たちは、地域の課題の一つであるそのような災害に対して自助、共助について考える環境を作り出すことにより、課

題解決の方法を発信してまいります。私たち守口門真青年会議所では持続可能なまちづくりをおこなっている団体の一つとしてどのような運動が地域に必要とされているかを常に考えてまいります。

【夢を語る事ができる青少年の育成】

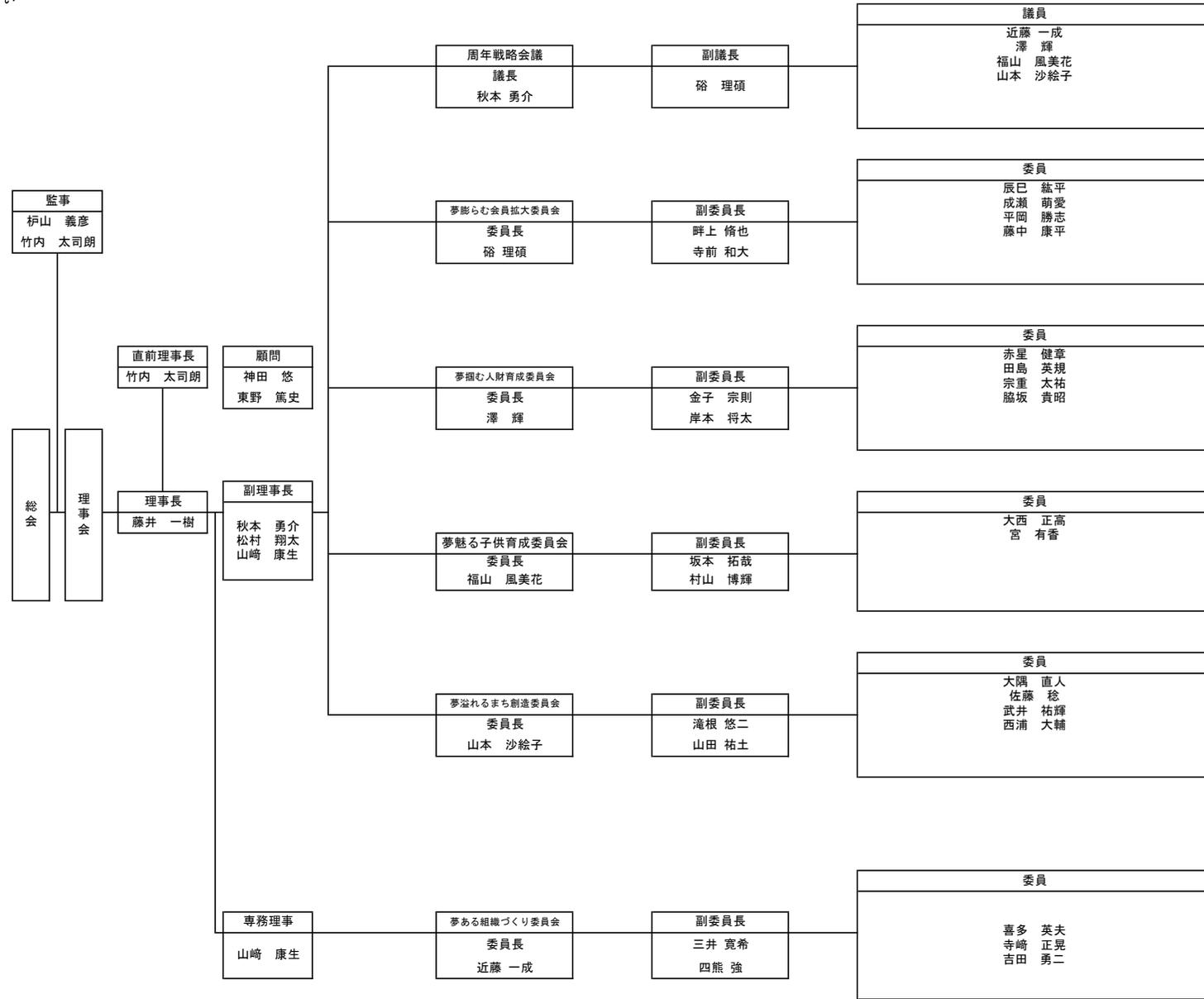
時代の推移に伴い現代の青少年を取りまく環境が我々の時代と比べ大きく変化しています。私たちの時代では考えられなかったものが青少年の夢として語られ、私たちの時代では考えられなかった様々な情報手段から莫大な量の情報を収集し、私たちの時代では考えられなかった手段で人間関係が構築されています。そのため、間接体験や疑似体験の増加し、直接体験が減少したことにより、青少年の豊かな成長にとっての影響を及ぼしていることが懸念されています。直接体験の中でも特に大切なのは自然体験です。五感全てを使い全身で自然環境を深く味わうことにより、自然や人々に関心をもつようになります。こうした自分自身を含めた対象との関心の高まりが、青少年が豊かに学び成長することの出発点となり、将来の夢に向かう行動力や意欲にもつながります。私たち守口門真青年会議所は地域の人たちと連携し青少年に様々な体験をしてもらう機会を提供してまいります。

【想いを込めた組織運営】

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックによって今までの日常は消え去り、社会の様相は一変してしまいました。守口門真青年会議所では、WEB会議を取り入れることによりその事態に対処してきました。WEB会議は私たちの活動の幅を広げ移動時間の短縮やコストの削減などの面で多大なメリットがあり、会議や事業がWEB参加できることが当たり前になってきましたが、現段階の技術で補えないものがあります。それこそがJC活動の本質です。2023年度はその本質を見つめ直す組織運営を行ってまいります。そのために各委員会や会議体の横のコミュニケーションを積極的にとることにより横の連携を強化するとともに、積極的に委員会の枠を超えたメンバー同士の結びつきを強めていきます。さらに、SNSなどを利用して私たちの運動を多くの人たちに知ってもらえるような発信をおこなってまいります。先輩諸氏が築いてきた組織文化やプロセスには背景があり理由があります。LOM運営における各プロセスの目的を意識し本質を考えたいうえで、今まで何気なくやってきたことを見つめなおし、時代に合う手法を取り入れ、想いを込めた組織運営を行ってまいります。

【結びに】

本年度は守口門真青年会議所統合20周年を控えた年にあたります。今まで先輩諸氏が築いてこられた歴史や創始の精神を今一度振り返ることで、私たちの方向性を再認識し20周年に向けて守口門真青年会議所を前へ進めてまいります。



正副会議	藤井 一樹 秋本 勇介 松村 翔太 山崎 康生
財務審議会	山崎 康生 秋本 勇介 松村 翔太 近藤 一成 三井 寛希 四熊 強 喜多 英夫 寺崎 正晃 伊山 義彦 竹内 太司朗
入会審議会	藤井 一樹 秋本 勇介 松村 翔太 山崎 康生 裕 理碩 畔上 脩也 寺前 和太

■周年戦略会議

<会議体構成メンバー>

議長	秋本 勇介	副議長	碓 理碩	議員	近藤 一成
議員	澤 輝	議員	福山 風美花	議員	山本 沙絵子

<委員会スローガン>

夢は終わらねえ！

<会議体方針>

2024年に大きな節目を迎えるにあたり、どのような問題が起ころうとも、様々な社会問題に向き合い、より良い社会を創造し、今後地域から必要とされるヴィジョンを描くために、新たな門出を迎える節目に戦略をたて、明るい豊かな社会の実現を目指し、準備していく必要があります。

まずは、20周年に向け強固な組織にしていくために、10周年、15周年のヴィジョンを検証し、また守口市、門真市の現状を調査し、守口門真青年会議所の原動力となる目標と指針を新しく策定し、全メンバーが共通の目的意識をもち、運動、活動の意欲を高めます。そして、守口門真JCシニアクラブの先輩諸氏の皆様に、1年間を通して、積極的にアプローチし、実際に体験してこられたことや、今、感じることなどをご指導いただき、さらなる連携を強め、ご協力していただきます。さらに、他LOM、各種団体の事業に積極的に参加し、2024年が統合20周年だと周知し、たくさんの方々に参加していただけるように、また参加していただいた方に実りある周年事業につなげます。

私たち、周年戦略会議では、最高の周年を迎えられるように一人ひとりがエナジーをもち、時代の変化に屈することのない夢のある組織の実現を目指してまいります。

■周年戦略会議＜事業スケジュール＞

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 献血推進活動(春)					報	報	実									
2. 大阪ブロック大会ブース出展								協 1	協 2	審		実		決		
3. 大阪ブロック大会参加促進										報	報	実				
4. 献血推進活動(秋)											報	報	実			
5. 周年準備事業の企画運営									協 1	協 2	審		実		決	
6. シニア交流会(秋)												報	報	実		

記入例：討＝討議、協 1＝協議 1、協 2＝協議 2、審＝審議、実＝実施、報＝報告依頼、決＝事業決算報告

p は pre 予定者段階

■ 夢膨らむ会員拡大委員会

<委員会構成メンバー>

委員長 裕 理碩 副委員長 畔上 脩也 副委員長 寺前 和大
総括幹事 平岡 勝志 委員 辰巳 紘平 委員 成瀬 萌愛
委員 藤中 康平

<委員会スローガン>

MUST THIRTY BEYOND

<委員会方針>

あなたには過去に夢がありましたか？この質問に20歳以上の方のほぼ100%はあると答えます。その質問が、今夢はありますか？である場合、約50%はあると答えます。つまり過去には夢をもっていた、そのおよそ半数が夢を諦めたことが分かります。本当に諦めなければならない夢だったのか。私にはできない無理だと決めつけ、知らず知らず自分の意識の中で諦めているのではないのでしょうか。

夢は人生を豊かにするものです。明るく豊かな人生と未来の社会のために、守口門真青年会議所がますます発展していく必要があります。本委員会では未来にむけての会員拡大をテーマに、まちづくりだけでなく、ひとづくりにも重きを置きます。月に1度の拡大事業では、JCの仲間たちとともに夢の大切さを再認識できる機会にします。JCカップ等では、子どもが夢を追いかける姿を通して、もう一度夢を見つけることや夢への挑戦の想いを市民の方にも感じてもらい、その中でJCの価値観やビジョンを共有します。そして、成長したメンバーが社会や住み暮らす地域により良い変化を与えているということを理解してもらうとともに、JCの夢に理念共感してもらえる会員拡大を行い、夢の灯が絶えることのない未来への活動を行います。

■ 夢膨らむ会員拡大委員会 <事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 1月～6月拡大事業				実	実	実	実	実	実							
2. 新入会員の受け入れ・育成		協2	審	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	決
3. JC カップ守口門真大会企画運営		協1	協2	審		実		決								
4. 6月北河内合同例会					協1	協2	審		実		決					
5. 総会懇親会企画運営						協1	協2	審		実		決				
6. 全国大会東京大会参加促進											報	報	実			
7. 全国東京大会ロムナイト設営											報	報	実			
8. 11月度例会企画運営										協1	協2	審		実		決

記入例: 討=討議、協 1=協議 1、協 2=協議 2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■夢掴む人財育成委員会

<委員会構成メンバー>

委員長	澤 輝	副委員長	金子 宗則	副委員長	岸本 将太
総括幹事	脇坂 貴昭	委員	赤星 健章	委員	田島 英規
委員	宗重 太祐				

<委員会スローガン>

夢にときめけ！未来にきらめけ！

<委員会方針>

組織を成立させるためには、共通目的、貢献意欲、意思疎通の3つの要素が必要です。JC活動において最も大切なのはメンバーであり、そのメンバーが集まり組織として機能することで、地域に必要とされるJC運動を発信していくことができます。私たちの共通目的は夢と希望が溢れる未来の創造です。そしてJC活動での様々な体験は、組織の一員として所属委員会や所属LOMIに貢献したいという意欲につながります。このような想いを意思疎通することで組織として成立し、機能していく必要があります。

能動的な行動ができる人財を育成していくために、まずはJCとは何であるか、そして活動を通じて何ができ、どのような人間になっていけるのかを学ぶ必要があります。そして行動することで、成功体験や失敗体験から得ることのできる学びや自信を、メンバー同士で共有する必要があります。これらのことを実現できる場として例会では、日本JCプログラムなどを利用しJCの理解度を深めます。また、今まで取り組んできたJC活動を振り返り様々な経験をメンバーと共有できる機会を設けます。

私たちは、守口門真青年会議所がより強固な組織となるよう、人財育成に取り組んでまいります。

■ 夢掴む人財育成委員会 <事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 2 月度例会の企画運営		協 1	協 2	審	実		決									
2. 近畿地区大会ブース出展						協 1	協 2	審		実		決				
3. 近畿地区大会参加促進								報	報	実						
4. 9 月度例会の企画運営								協 1	協 2	審		実		決		
5. 大納会の企画運営													報	報	実	

記入例: 討=討議、協 1=協議 1、協 2=協議 2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■夢魅る子供育成委員会

<委員会構成メンバー>

委員長 福山 風美花 副委員長 坂本 拓哉 副委員長 村山 博輝
総括幹事 吉田 恵太 委員 大西 正高 委員 宮 有香
委員 米田 貢二

<委員会スローガン>

道草を楽しめ!!!

<委員会方針>

今の子供たちはSNSなどで幅広い交友関係を築く環境下にあります。本音を語り合える親友が少なくなっています。そんな時代だからこそ我々は、夢を真剣に語り合える仲間をつくることの大切さを伝えていかなければなりません。

夢を語ることに恥じらいをもっている子や、自分もった夢を大きく、遠くに感じてしまい諦める子がいます。その夢を実現させるためにはJCの綱領の志を同じうするの部分のように、同じ夢をもつ仲間を探し増やすことによって、色々なアイデアや視野を広げ、夢に向かい挑戦していき目標を一つ一つ達成することで経験も多くなり、心も強くなっていく必要があります。

学力をはじめ生活習慣、自立心や自制心といった社会的なマナーなど、子供が生きるうえで必要な基礎的な素質や能力を学校や家庭で学びますが、学校や家庭ではできないような経験を保護者の方と共に体験し、さらに保護者の方にも子供の可能性を広げる機会を提供すべく活動し、その過程で見えた景色や、結果を楽しんでもらいます。

JCの役目は果てしなく大きく、子供たちのもつ夢や可能性を拓ける一助となるように、自然と触れ合うなど五感をフルに活用できるような、普段の生活とは違った体験を提供していきます。

■ 夢魅る子供育成委員会 <事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 3月度例会の企画運営			協1	協2	審	実		決								
2. 5月度例会わんぱく相撲の企画運営				協1	協2	審		実		決						
3. 門真まつりブース出展の企画運営							協1	協2	審		実		決			
4. 10月度例会の企画運営									協1	協2	審		実		決	

記入例: 討=討議、協 1=協議 1、協 2=協議 2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■夢溢れるまち創造委員会

<委員会構成メンバー>

委員長 山本沙絵子 副委員長 瀧根悠二 副委員長 山田祐土 総括幹事 西浦大輔
委員 大隅直人 委員 佐藤稔 委員 武井祐輝

<委員会スローガン>

同心共力～持続可能なまちづくり～

<委員会方針>

我々守口門真青年会議所は持続可能な地域を創り、明るい豊かな社会の実現のために運動をしていますが、時代が変化していくなかで人と人とのつながりが希薄化しているのも現状です。私たちが先頭に立つことで、地域の人と人との架け橋になり地域コミュニティの機能を向上をさせる必要があります。

地域の各団体や企業とのかかわりを深くし、共に活動を行うことでさらに地域に愛着をもってもらえる機会を提供してまいります。守口門真青年会議所には代々受け継がれている愛の鈴事業があります。歴史を紡ぎ続けている事業を地域の方々とおこなうことにより、コミュニケーションを大切にします。

地域の課題の一つである自然災害に対して考える環境を作りだし、地域団体とコミュニケーションを取る事業を構築します。防災に特化した団体とパートナーシップを取り市民の方々学ぶことで地域の防災力を高め、地域の活性も行います。

我々守口門真青年会議所が地域の中心となり地域の方々、行政各種団体がお互いを理解し尊重し合ったなかで、かかわりをもつすべての人が仲良くなれるプラットフォームを構築し、メンバーをはじめとするまちの人たちにとって夢が溢れるまちづくりをおこなってまいります。

■ 夢溢れるまち創造委員会 <事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 新年交歓会		協2	審	実		決										
2. シニア交流会				報	報	実										
3. 4月度例会愛の鈴事業企画運営			協1	協2	審		実		決							
4. 守口市長選挙候補者討論会企画運営						協1	協2	審		実		決				
5. 8月度例会 企画運営							協1	協2	審		実		決			
6. 守口市民まつりブース出展										協1	協2	審		実		決

記入例: 討=討議、協1=協議1、協2=協議2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

■夢ある組織づくり委員会

<委員会構成メンバー>

委員長	近藤 一成	副委員長	四熊 強	副委員長	三井 寛希
幹事	寺崎 正晃	副幹事	喜多 英夫	委員	山田 悠二
委員	藤田 和哉				

<委員会スローガン>

夢を描ければ、それは現実にできる

<委員会方針>

夢ある組織づくり委員会ではJC活動を通じて時代に合った組織運営がおこなえるように各委員会の連携を深め、将来に向けて一致団結し、守口市、門真市の市民の方々へ情報発信を強化していく必要があります。

はじめに、メンバー同士の結びつきを深めるため、名簿データの作成をおこない、各メンバーへ共有し活用を促します。そのうえでメンバー同士が各委員会や会議体の垣根を超えたコミュニケーションを取り、円滑に連携強化できるように体制を構築します。

つぎに情報発信の強化をおこなうため時代に合う手法を取り入れたホームページの作成および運用をおこない、SNSなどの活用も実施し、守口市、門真市の市民の方々に対しても対外事業の活動周知や対外事業の宣伝をおこない私たちメンバーの運動や実績を知っていただけるように強化を図ります。そのうえで、担いである役員選考委員選出投票では迅速にメンバーへの周知をおこない投票の回収を実施し、現役メンバーからこれまでともしてきた卒業生へ感謝と新たな第1歩の祝福を先輩諸氏の方々にもご臨席いただき卒業式を執り行います。

夢ある組織づくり委員会では、メンバーをはじめ守口市、門真市の市民とのつながりを構築し、活動してまいります。

■ 夢ある組織づくり委員会 <事業スケジュール>

	月→	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
事業名↓	理事会→	p3	p4	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
1. 名簿・基本資料の作成		協 2	審	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	決	
2. 定時総会の企画運営		協 2	審	実		決										
3. 役員選考委員選出投票の管理						審	実	報	決							
4. 交通安全(春)					報	報	実									
5. 7月臨時総会の企画運営						協 1	協 2	審		実		決				
6. サマーコンファレンス参加促進								報	報	実						
7. サマーコンファレンス LOM ナイト設営								報	報	実						
8. 交通安全(秋)											報	報	実			
9. 12 月度例会卒業式の企画運営											協 1	協 2	審		実	決
10. 褒賞授与式														審	実	決
11. HP 作成		報	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	報

記入例: 討=討議、協 1=協議 1、協 2=協議 2、審=審議、実=実施、報=報告依頼、決=事業決算報告

p は pre 予定者段階

2023年度 一般社団法人 守口門真青年会 事務所

収支予算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

科目	2023年度 予算額	差異	2022年度 予算額	2022年度 決算額	備考
1. 事業活動収入					
入会金収入	300,000	200,000	100,000	40,000	
会費収入	8,430,000	1,490,000	6,940,000	5,840,000	
正会員会費収入	4,800,000	-840,000	5,640,000	5,280,000	1120,000×期首会員40名
新入会員会費収入	3,600,000	2,400,000	1,200,000	480,000	1120,000 × 30名
特別会員会費収入	30,000	-70,000	100,000	80,000	110,000 × 3名(2022卒)
賛助会員会費収入	0	0	0	0	1口(10,000円)×50口
事業収入	2,610,000	0	2,610,000	1,567,200	
登録料収入	2,610,000	10,000	2,600,000	1,324,000	新年交歓会 / 総会懇親会 / 卒業式謝恩会
販売収入	0	0	0	243,200	
雑収入	0	-10,000	10,000	0	LINEスタンプ
受取負担金収入	450,000	0	450,000	450,000	
シニアクラブ負担金	450,000	0	450,000	450,000	
受取寄付金収入	300,000	-10,000	310,000	375,000	
受取寄付金	300,000	0	300,000	375,000	わんぱく相撲
クラウドファンディング	0	-10,000	10000	0	
受取募金	0	0	0	0	
雑収入	110,080	-301,920	412,000	319,183	
受取利息収入	60	-940	1,000	58	
特別基金 受取利息収益	20	-980	1,000	24	
JCカード	100,000	0	100,000	120,101	L O M還元 5,000円×10人 ※決算額参照
その他雑収入	10,000	-50,000	60,000	34,000	J Cカード新規登録キャッシュバック金含む
広告料収入	0	-250,000	250,000	165,000	FMハナコ(委員会として使用するものは有)
周年積立金切り崩し	0	0	0	0	
シニアクラブ周年協力金	0	0	0	0	
新入会員の繰入金支出	0	0	0	0	
事業活動収入計	12,200,080	1,378,080	10,822,000	8,591,383	
2. 前年度繰越金	2,440,173	-3,736,254	6,176,427	6,176,427	
3. 事業活動支出					
事業費支出	6,660,000	-1,040,000	7,700,000	4,754,233	
周年戦略会議	200,000	200,000	0	0	
夢膨らむ会員拡大委員会	2,065,000	2,065,000	0	0	登録料(総会懇親会)含む
夢掴む人財育成委員会	400,000	400,000	0	0	
夢魅る子供育成委員会	850,000	850,000	0	0	シニアクラブからの寄付金含む(わんぱく相撲)
夢溢れるまち創造委員会	1,480,000	1,480,000	0	0	登録料(新年交歓会)含む
夢ある組織づくり委員会	1,665,000	1,665,000	0	0	登録料(卒業謝恩会)含む
未来創造アルテル委員会	0	-750,000	750,000	561,517	
命つむく健康教育推進委員会	0	-750,000	750,000	368,411	
郷土史創造委員会	0	-650,000	650,000	249,061	
ミラクルな友情育成会議	0	-670,000	670,000	495,050	
未来地域×創造確立会議	0	-3,950,000	3,950,000	2,171,405	登録料(新年交歓会、総会懇親会、卒業謝恩会)含む
正副理事長	0	-930,000	930,000	908,789	
特別事業費支出	0	-1,180,000	1,180,000	878,670	
定時総会	0	-100,000	100,000	99,265	
新年交歓会PR日程計画	0	-50,000	50,000	12,000	
役員選考委員選出投票の管理	0	-30,000	30,000	0	
臨時総会	0	-100,000	100,000	99,000	
愛の鈴贈呈事業	0	-400,000	400,000	349,864	
わんぱく相撲大会	0	-500,000	500,000	318,541	
管理費支出	4,371,950	-41,700	4,413,650	3,805,005	
会議費	100,000	-100,000	200,000	99,920	
給与手当	1,200,000	0	1,200,000	1,200,000	
退職給付費用	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	
法定福利費	4,500	0	4,500	3,624	
通信費	200,000	50,000	150,000	144,454	
広報費	0	-30,000	30,000	16,314	facebook広告料(委員会ごとの事業で利用するのは可)
消耗品費	50,000	0	50,000	41,195	
消耗什器備品費	100,000	60,000	40,000	137,360	
倉庫賃貸費	240,000	60,000	180,000	265,000	
共益費	250,000	0	250,000	225,805	
事務機賃賃料	100,000	0	100,000	102,273	
修繕費	0	0	0	0	
印刷製本費	85,000	0	85,000	65,219	
光熱費	110,000	10,000	100,000	96,222	
業務委託	220,000	0	220,000	213,600	HP製作委託費、理事変更届手数料
租税公課	190,000	-10,000	200,000	166,000	
渉外費	1,000,000	0	1,000,000	733,112	
支払手数料	20,000	0	20,000	9,085	
雑費	250,000	-250,000	500,000	251,962	ダイナースクラブ年会費、Zoom年会費含む
総務費	0	0	0	0	
新入会員支出	252,450	168,300	84,150	33,860	バッジ1,800・プレート1,750・ボロシャツ1,700・ジャンパー2,900・入会証証書90・簡175(8,415)×30名
負担金支出	1,444,230	-1,274,643	2,718,873	2,383,589	
J C I 会費	116,480	21,632	94,848	84,864	11,664×70名
日本 J C 会費	320,000	0	320,000	290,000	基本金45,000 15,000 × 40名 + 12,500円 × 30名
近畿地区協議会会費	156,000	23,400	132,600	86,600	基本金30,000 11,800 × 70名
大阪ブロック協議会会費	294,000	15,600	278,400	262,800	基本金8,000 15,200 × 40名 + 12,600円 × 30名
国際協力資金	127,750	23,725	104,025	93,075	11,825 × 70名
日本 J C 出向者負担金	0	0	0	0	受益者負担
機関紙購読料	165,000	9,000	156,000	142,250	3,000 × 40名 + 11,500円 × 30名
近畿地区大会登録料	0	-171,000	171,000	147,000	
大阪ブロック大会登録料	0	-114,000	114,000	96,000	
ASPAC大会登録料	0	-1,083,000	1,083,000	686,000	
J C 手帳購入費	0	0	0	0	
アジェンダシステム費用	165,000	0	165,000	165,000	
寄付金支出	100,000	0	100,000	0	
正会員会費返金	0	0	0	0	
新入会員会費返金	0	0	0	0	
協賛金・後援金支出	0	-300,000	300,000	330,000	FMハナコ出演料
他会計への繰入金支出	547,550	31,700	515,850	506,140	
周年積立金	500,000	0	500,000	500,000	
特別基金への繰入金支出	47,550	31,700	15,850	6,140	11,585 × 30名
事業活動支出計	13,023,730	-2,324,643	15,348,373	12,327,637	
4. 予備費支出	1,616,523	-33,531	1,650,054	2,440,173	
当期収入合計	14,640,253	-2,358,174	16,998,427	14,767,810	
当期支出合計	14,640,253	-2,358,174	16,998,427	12,327,637	
当期収支差額	0	0	0	2,440,173	

■ 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所
組織グループ

JC 未来創造会議

議長 東野 篤史
委員 秋本 勇介
委員 山本 沙絵子

会計幹事 神田 悠
委員 澤 輝

公益社団法人日本青年会議所
近畿地区協議会

イノベーションカンファレンス委員会

委員 松村 翔太

公益社団法人日本青年会議所
近畿地区 大阪ブロック協議会
大阪の夢実現委員会

副委員長 岸本 将太
委員 近藤 一成

小幹事 西浦 大輔

2023出向先外郭団体

守口市安全なまちづくり推進協議会	松村 翔太
守口市献血推進協議会	秋本 勇介
守口市交通安全都市推進協議会	山崎 康生
守口市青少年問題協議会	秋本 勇介
守口市市民憲章推進協議会	松村 翔太
守口市民まつり実行委員会	藤井 一樹 秋本 勇介 松村 翔太 山崎 康生
守口市人権協会	秋本 勇介
守口市暴力追放推進連絡協議会	松村 翔太
エフエムもりぐち番組審議会	松村 翔太
門真市安全なまちづくり協議会	秋本 勇介
門真市美しいまち推進協議会	秋本 勇介
門真市音楽協会	松村 翔太
門真市交通安全推進協議会	松村 翔太
門真市民ミュージカル実行委員会	秋本 勇介
門真市駅エリアリノベーション事業 社会実験実行委員会	藤井 一樹
門真市民まつり企画部長	松村 翔太
門真市民まつり	松村 翔太
門真市社会福祉協議会	秋本 勇介
門真市人権協会	松村 翔太
門真市青少年育成協議会	秋本 勇介